

魅せる！
現場

～現場を支える人々編～

白虹橋取付道路他工事

未来に残すものづくりを！



土木は地球のお医者さん

私は将来、子供たちから「お父さんはどんなお仕事しているの？」と聞かれたら、「地球のお医者さんだよ。」と答えたい。

～私はこんな気持ちで土木の世界に入りました～

私の父も土木業界で働いています。その影響で土木の道を選びました。

サッカーに明け暮れていた高校3年生の頃、将来の事について初めて考えました。その時までは全然意識していなかった父の職業に興味を持ち、橋や道路など、私たちが当たり前利用している物の多くが土木で造られているんだと知りました。そのスケールの大きさに心惹かれ、大学で土木科を専攻する事に決めました。

そして、大学で土木を学び、この業界に入りました。



株式会社 長村組 土木部

まるおか しゅんぺい
丸岡 駿平
(26歳)

2014年 入社

これから働く若者たちに

土木の魅力を知ってもらいたくて

この業界は若者が減っています。

もっと多くの仲間と一緒に仕事がしたいくて、そして、こんなにもやりがいのある仕事を若者に知ってもらいたくて。

達成感

同じものを創るのではない。
土木にはそんな難しさと、
そして楽しみがある。

現場環境、気象条件、工事
内容など何一つ同じ工事は
ない。

その多彩な工事を、みんなで
力を合わせ、苦勞して出来上
がった時の**喜び、達成感**を味わったら、もう
この仕事はやめられない。
だから私はこれからもずっと**土木**を愛して
いきます。



未来の子供たちのために

「大地や木々と直接対話している。」私たちはそんな仕事をしています。
社会のために安心・安全なインフラ整備に全力で取り組んでいます。

白虹橋取付道路他工事は、天ヶ瀬ダム再開発事業の内、現在の白虹橋を下流に新しく架け替える工事の一環で、その橋周辺の整備工事を行っています。



白虹橋作業所
所長

山田 秀昌
(59歳)

20才で就職し
瞬間に60歳

を迎えます。40年間、推進工事及び河川工事に多く携わってきました。この仕事は、世間のみなさんに一番身近で、そして、みなさんの生活を守っているんだと自負して仕事に取り組んでおります。

(後輩へのメッセージ)

現場の責任者として任される事はとても大変です。しかし、これ程、やり甲斐のある仕事はないと考えます。次の世代は君たちが主役です。若い時こそがむしやりに仕事に取り組んで、一步一步成長してほしいと思います。

私たちの仲間を紹介します。



山村建設 株式会社
代表取締役 浦井 康志
(47歳)

創業60年。先代から受け継いだ会社を盛り上げるために頑張っています。『人材こそ宝』だと従業員に感謝し、みんなで力を合わせて楽しく仕事しています。

前職は車の整備士をしていましたが、12年前、この会社に入社しました。たくさんの資格を取らせてもらい、日々頑張っています。

この業界に入って、とても満足しています。

山村建設 株式会社
氏名 神代 聡
2004年入社 (51歳)



山村建設 株式会社
氏名 藤村 賀之
1987年入社 (48歳)

小さな頃から重機や消防車などの働く車が好きでした。だから、重機を運転する仕事に就きたくて土木の業界に入りました。人の暮らしの役に立つ、凄くやりがいのある仕事だと思います。

父親が土木の会社を経営していました。小さな頃から父親の仕事を見ていたので自然と土木の業界に入りました。主に重機のオペレーターをしています。『丁寧で安全な仕事』を心がけています。

山村建設 株式会社
氏名 池田 啓司
1998年入社 (36歳)



現場で一番大切なのは 和

現場では、多くの仲間たちと一緒に仕事をします。安全で良い製品を創るためには、仲間とのコミュニケーションが最も大事です。このコミュニケーション(和)が全ての基本だと考え、日々仕事をしています。そのために現場では、大きな声であいさつ、笑顔で作業を心がけて実践しています。私はこんな仲間が大好きです。

●私のプライベート(丸岡 駿平)



私は小・中・高校でサッカー少年でした。今はしていませんが、応援するのが大好きです。特に日本代表サッカーを応援しています。ロシアW杯に向けてアジア最終予選、香川がんばれー！